

かず じっしんぽう
数はどうして十進法なの

たんい きほん じっしんぽう
10の単位を基本にしている十進法

むかし ひとびと かず かぞ ほうほう かんが いし ぼう
昔、人々は数を数えるのに、いろいろな方法を考えだしてきました。たとえば、石や棒
をならべていたり、木にきずをつけたり、地面に線をひいたりして数を数えたのです。
そのうち、石や棒をならべるにしても、いくつかをひとまとめにして、たんい
うがわかりやすいことにきづきました。

こうして、せかい
こうして、世界のあちらこちらで、2、3、5、10、12、20、60などのたんい
使われていったのです。

このうち、たんい かず あわ じっしんぽう しんぼう とけい
このうち、10を一つの単位として数を表すのを十進法といいます。60進法は、時計
のぶん びょう じかん ぶん つか
の1分は60秒、1時間は60分というように使われています。

しんぼう いま つか けいさん つか
2進法は、今では0と1を使って、コンピュータの計算などに使われています。

にんげん ゆび ほん じっしんぽう う
人間の指が、10本あることから十進法が生まれた

じっしんぽう にんげん て ゆび りょうて ほん もの かぞ
この十進法は、人間の手の指が両手で10本あり、10ごとにまとめて物を数えるのが
べんり はったつ かんが
便利だということから発達したと考えられています。(監修 青木国夫)

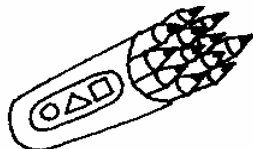
10進法



60進法



12進法



2進法

